



No 92

新館紹介

鏡野町立図書館



鏡野町指定のチョウ「ジャコウアゲハ」が利用者カードのデザインになっています。

鏡野町は東北の緑と清流に育まれた地にある人口一万千七百一十一人（十五年・八月末）の町です。鏡野町立図書館は平成十五年三月二十七日にオープンしました。総合文化施設「ペスタロッツチ館」には、図書館の他に、郷土博物館、多目的ホール、音楽室、体験学習室、パソコン教室

などがあります。

図書館はオープンより八月末までの百二十六日間で、のべ三万六千七百四十四人、一日平均二百九十一人が来館され、のべで四万四千百九十八点、一日平均約三百五十点の貸出があり、土日や夏休みには家族連れでたいへんにぎわっています。

開架スペースに七万冊、閉架書庫に十六万冊収蔵できます。蔵書数は、現在約四万七千冊で、このほかにAV資料が、八百六十六点あり、本年度中に六万冊を整備する予定です。また、中央公民館図書室にあった本約四千冊も図書館に移動させました。寄贈書も多く、町内の山田養蜂場からは「みつばち文庫」として自然の本を中心に、鏡野町出身の竹井史郎さんからは、工作や遊びに関する本を寄贈いただき、児童書スペースにそれぞれコーナーを設けています。ペスタロッツチ館を入つてすぐにあるペスタロッツチルームでは、スイスの教育学者ペスタロッツチの生涯や、ゆかりの人々、「日本のペスタロッツ

チタウン・鏡野」の町作りを紹介しています。図書館内にも、ペスタロッツチ関係の資料を集めたコーナーを設けています。

また、図書館内には片岡鐵兵文学記念室もあります。郷土出身の小説家で、大正から昭和初期にかけて川端康成・菊池寛らとともに活躍した片岡鐵兵の貴重な資料をはじめ、主要な作品と活躍の足跡を年譜でたどることが出来ます。没後鏡野町に建立された胸像の除幕式に参列した川端康成の写真などもあります。

子供向けの行事としては、毎週水曜日にこどものえいが（DVDの上映）、木曜日にえほんのじかん（絵本の読み聞かせ）をお話室で行っています。他に、おたのしみ会（かんたんこうさく・読み聞かせ）や、おは



なしっぱい（紙芝居や、パネルシアターなど）、DVDシアター（夢ホールにて）もしています。

また、町の乳児健診時に行うブックスタートでは、お母さんと赤ちゃんの絵本の時間を大切にしてみようとして、絵本の紹介をしたパンフレットとともに、絵本五冊の中から二冊を選んでいただき手渡しています。乳児健診後の時間をいただいで行っていますが、熱心に選ばれるお母さん方が多く、喜ばれています。

町内の保育所や小学校へは団体貸出を行っています。小学校では学級文庫にしているところもあり、返却時には、おもしろかった本を教えてもらうこともあります。

先日町内の老人福祉施設からも見学に來られました。今後は大活字の本や、対面朗読のサービスも利用していただきたいと思います。

利用案内

* 苫田郡、津山市、久米郡、勝田郡、真庭郡内にお住まいの方ならなどなたでも本が借りられます。

* ひとり十冊二週間借りられます。（CD・DVD・ビデオを含めた場合も十点までです）

* 休館日は毎週水曜日・祝日・年末年始・館内整理日（月末の金曜日）・特別整理期間です。

岡山県図書館横断検索システムの更新

大学図書館蔵書も検索対象に

岡山県総合文化センター 整理課



横断検索システムの概要

岡山県図書館横断検索システム（以下横断検索システムと略す）がシステム更新され、十月一日より一般公開されました。インターネット上に分散した各館の蔵書検索サーバを横断検索する仕組みであるのは、ご存知のとおりです。現在、県内の公共図書館および公民館図書室三十館と、大学図書館一館の、合計三十一館の蔵書が検索対象です。特筆すべきことは、今回はじめて、大学図書館が検索対象となったことです。平成十五年十月時点の接続館の内訳は以下のとおりです。

- 岡山県総合文化センター 岡山市立図書館
- 倉敷市立図書館 津山市立図書館
- 玉野市立図書館 笠岡市立図書館
- 井原市立図書館 総社市立図書館
- 高梁市立図書館 備前市立図書館
- 御津町立図書館 瀬戸町立図書館
- 山陽町立図書館 和気町立図書館
- 瀬崎町中央図書館 早島町立図書館
- 鴨方町立図書館 里庄町立図書館
- 矢掛町立図書館 真備町立図書館

- 鏡野町立図書館 勝央図書館
- 奈義町立図書館 勝北町立図書館
- 旭町立図書館 柵原町立図書館
- 金光図書館 長船町中央公民館
- 北房町中央公民館図書室 哲西町図書館
- 岡山大学附属図書館

横断検索システムのあゆみ

従来の横断検索システムは、平成十一年十一月に、当時の郵政省（現総務省）のギガビットネットワーク実験の中で開始されました。インターネット上に公開された各館の蔵書検索サーバを横断検索するという考え方は、全国有数のインターネット環境である岡山情報ハイウェイを最大限活用するという目的意識から生まれました。その後の全国的なインターネット環境整備とともに、この考え方は多くの県で採用されています。

実験当初の接続館数は、岡山県総合文化センター、岡山市立図書館、倉敷市立図書館のわずか三館で、現在のようにな多くの館数は想定して

いませんでした。しかし、昨年度、接続館数が十三館から二十六館に倍増するとともに、接続館数増大に伴うシステムの負荷が限界に達し、障

害が起こり始めていました。今回のシステム更新で、その改善とかねてからの懸案に取り組みました。

図1 . 岡山県図書館横断検索システム画面 <http://oudan.libnet.pref.okayama.jp/>

岡山県図書館横断検索システム

検索 <input type="button" value="クリア"/>	
書名	<input type="text"/> かつ <input type="text"/> <input type="button" value="で始まる"/> <input type="button" value="で始まる"/> <small>※書名検索で「～を含む」を検索条件とする場合 → 単語毎に区切り、入力枠を分けてください。 例「三ひきのこぶた」 → 「三ひき」 かつ 「こぶた」 ※書名のヨミで検索する場合 → 検索条件を「～を含む」にし、全角カナで単語毎に区切り、入力枠を分けてください。 例「三ひきのこぶた」 → 「サンピキ」 かつ 「コブタ」</small>
著者	<input type="text"/> かつ <input type="text"/> <small>※姓と名の間に全角スペースを入れてください。</small>
出版者	<input type="text"/> 分類記号 <input type="text"/>
出版年	<input type="text"/> 件名 <input type="text"/> <small>※西暦4桁(半角) ※関連する人物や事柄を入れてください。</small>
検索 <input type="button" value="クリア"/>	
検索する図書館を選択してください	
<input type="button" value="全ての図書館を選択"/> <input type="button" value="全ての図書館をクリア"/> <input type="button" value="市町村名から出し可能な図書館を選択する。"/>	
<input type="button" value="県立図書館 全館"/>	<input checked="" type="checkbox"/> 岡山県総合文化センター <input type="checkbox"/> 岡山市立中央図書館 <input type="checkbox"/> 倉敷市立中央図書館 <input type="checkbox"/> 津山市立図書館 <input type="checkbox"/> 玉野市立図書館 <input type="checkbox"/> 笠岡市立図書館 <input type="checkbox"/> 井原市立図書館 <input type="checkbox"/> 総社市立図書館 <input type="checkbox"/> 高梁市立図書館 <input type="checkbox"/> 備前市立図書館
<input type="button" value="市立図書館 全館"/>	<input type="checkbox"/> 御津町立図書館 <input type="checkbox"/> 瀬戸町立図書館 <input type="checkbox"/> 山陽町立図書館 <input type="checkbox"/> 和気町立図書館 <input type="checkbox"/> 長船町中央公民館 <input type="checkbox"/> 瀬崎町中央図書館 <input type="checkbox"/> 早島町立図書館 <input type="checkbox"/> 鴨方町立図書館 <input type="checkbox"/> 里庄町立図書館 <input type="checkbox"/> 矢掛町立図書館 <input type="checkbox"/> 真備町立図書館 <input type="checkbox"/> 北房町中央公民館図書室 <input type="checkbox"/> 哲西町立図書館 <input type="checkbox"/> 鏡野町立図書館 <input type="checkbox"/> 勝央図書館 <input type="checkbox"/> 奈義町立図書館 <input type="checkbox"/> 勝北町立図書館 <input type="checkbox"/> 旭町立図書館 <input type="checkbox"/> 柵原町立図書館
<input type="button" value="町立図書館 全館"/>	<input type="checkbox"/> 金光図書館
<input type="button" value="私立図書館 全館"/>	<input type="checkbox"/> 岡山大学附属図書館
<input type="button" value="その他の図書館 全館"/>	

システム更新のポイント

新規接続設定の迅速化

従来の横断検索システムでは、各館蔵書検索サーバの新規公開や環境変更の都度、岡山県総合文化センターからシステムエンジニアに横断検索設定作業をカスタマイズ依頼せねばなりませんでした。費用、手間、時間を要する関係上、岡山県総合文化センターでの横断検索設定作業は、年二回まとめて行うことにしていました。このため、各館の蔵書検索サーバが新規公開されても、横断検索システムでの検索対象として設定できるまで、通常数ヶ月から半年程度要し、迅速な対応が期待されていませんでした。この点を見直し、現行システムでは、職員が管理画面で設定できるようにし、迅速な対応を可能としました。

障害対応の向上

従来の横断検索システムでは、個別の蔵書検索サーバが障害で止まると、横断検索の応答時間が極端に長くなり、障害の連鎖が起こっていました。しかし、現行システムでは、各館蔵書検索サーバからの応答待ち時間を最長一分とし、個別の蔵書検索サーバに障害が起こっても影響を受けにくい構造としました。

標準的な横断検索方式の採用

横断検索システムでは、横断検索

サーバと各館の蔵書検索サーバとの間でデータをやり取りしています。従来は、本横断検索システム内でのみ通用する独自の横断検索方式が定められ、各館の蔵書検索サーバに組み込まれていました。ただし、この独自の横断検索方式については、大学図書館システム、一部の公共図書館システムの蔵書検索サーバが対応できない課題がありました。なお、そうした蔵書検索サーバについても、そうした蔵書検索サーバについても、たとえば、標準的な横断検索方式がもともと組み込まれていた岡山大学附属図書館の蔵書検索サーバに見られるように、国際標準規格の横断検索方式に対応していく傾向にはありました。以上を考慮し、標準的な横断検索方式に準拠した横断検索システムに移行していくことになりました。もちろん、各館が同時期に移行することは困難なので、過渡期は標準的な方式と既存の方式が並立、並存することになりますが、検索画面上は統合します。各館は、システムの新規構築、あるいは更新の際、蔵書検索サーバの調達仕様に、標準的な横断検索方式を導入することで、無理のない移行が可能です。

この標準的な横断検索方式の仕様の問い合わせは、岡山県総合文化センター 整理課までお願いします。相互貸借システムの構築

相互貸借システムの構築

横断検索画面での図書館間予約について、かねてより要望が挙がっていました。もちろん、個別の貸出依頼は各館の相互貸借規則等に基づいて最終判断されることとなりますが、予約ボタンを押すことにより、予約メールが届くような仕組みを用意しました。

今後の課題

最近、公共図書館以外の館種、たとえば、大学図書館にも、地域貢献地域連携の気運が盛り上がりつつあります。確かに、公共図書館と大学図書館では、地域へのサービス形態は異なりますが、地域開放等に導く手段の一つとして、横断検索システムの活用が考えられます。蔵書検索サーバを今後新規構築、あるいは更新される予定の図書館は、横断検索システムへの参加を考慮いただければ幸いです。

なお、相互貸借システムについては、大学図書館ではまず学内利用が優先されるといこと、研究室の資料は貸出に制約があること等を考慮しながら、今後活用の調整を図っていきます。

また、今年度、県下全市町村に毎週資料搬送する物流網を試行整備しました。大学図書館等への搬送は現

在行っておりませんが、今後の検討課題と位置付けております。

今年度後半、さらに来年度、横断検索システムへの大学図書館の新規接続が続く予定です。公共図書館、大学図書館をはじめとした異館種連携の契機になることが期待されます。

岡山県図書館間相互貸借システム
岡山県総合文化センター(県立) 貸出照会画面

依頼日	借受館	状態	貸出日	返却日	資料名 著者名/著 出版者 出版年
<input type="checkbox"/> 2003/10/02	法101立回書籍	搬送中	2003/10/02	2003/11/01	颯床吹風 徳永 進/著 岩波書店 2000
<input type="checkbox"/> 2003/10/02	法101立回書籍	搬送中	2003/10/02	2003/11/01	落日の家 勲定幸行/監製 吉村 昭/著 講談社 1996
<input type="checkbox"/> 2003/10/04	岡南立回書籍	引受中			Deep love アユの物語 Yoshi/著 スタート出版 2002
<input type="checkbox"/> 2003/10/04	岡南立回書籍	引受中			Deep love 完全版 Yoshi/著 スタート出版 2003
<input type="checkbox"/> 2003/10/04	岡南立回書籍	引受中			Deep love 完結版 Yoshi/著 スタート出版 2003
<input type="checkbox"/> 2003/10/04	玉野立回書籍	搬送中	2003/10/04	2003/11/03	日本自動車大鑑 交通毎日新聞社 1971
<input type="checkbox"/> 2003/10/08	法101立回書籍	搬送中	2003/10/08	2003/11/07	銀行大統合 ドキュメント・ノベル「みずほフィナンシャルグループ」 高杉 良/著 講談社
<input type="checkbox"/> 2003/10/08	法101立回書籍	搬送中	2003/10/08	2003/11/07	青年社長 若き起業家の熱き夢と挑戦 高杉 良/著 ダイアモンド社 1999
<input type="checkbox"/> 2003/10/08	法101立回書籍	搬送中	2003/10/08	2003/11/07	青年社長 若き起業家の熱き夢と挑戦 高杉 良/著 ダイアモンド社 1999
<input type="checkbox"/> 2003/10/08	法101立回書籍	搬送中	2003/10/08	2003/11/07	維新に埋れず 高杉 良/著 講談社 1996
<input type="checkbox"/> 2003/10/03	総社立回書籍	貸出中	2003/10/03	2003/11/02	氷河期へ向う地球 異常気象からの警告 根本 順吉/著 風潮社 1973

図2. 岡山県図書館間相互貸借システム画面(貸出照会画面)

早島町立図書館における ボランティア活動

早島町立図書館
河原 悦子

早島町立図書館では、現在三つのボランティアグループが図書館を中心に活発な活動をされていて、図書館活動に欠くことのできない存在となっています。

それぞれのグループの紹介をします。

まず、新図書館開館前より活動がされていた『はやしま本だいすきの会』。会員数は現在十七名で、町内の本好きな人や、岡山市の学校司書の方を中心に構成されています。

主な活動は、図書館での毎月一回の「紙芝居の時間」の開催、年に三回季節にちなんだお話や工作をする催しの企画・出演などです。この夏休みには、「夏の夜のお話会」を開催し、こわーいお話や蛍光パネルシスター、紙で作るガイコツの工作などに、大勢の子ども達が目を輝かせ、お話の世界を楽しみました。

最近ではこういった図書館での活動の他に、デイサービスセンターでのお年寄りへの読み聞かせ、幼稚園

への出張お話会と活動の場が広がっています。

次に『おはなしの会・かたつ夢り』。新図書館開館前の平成九年に開講した図書館ボランティア養成講座「ストーリーテリング・読み聞かせ講座」の修了生によって結成され、会員数は現在十名です。

主な活動は、図書館で毎月一回の「おはなしの会」、年三回の「ストーリーテリングの夕べ」の開催、養護学校の授業時間、小学校の図書



の時間にかけての出張お話会などで、ストーリーテリングを中心とした活動をされています。最後に、去年結成されたばかりの『布絵本の会』。平成十四年度図書館ボランティア養成講座「布絵本を作るう」を受講された方を中心に構成されており、町内外の方十五名が会員です。図書館に置く布絵本や布のおもちゃを製作する手作りボランティアです。今ま

でに製作した布絵本は十冊、手作りの暖かさが大変喜ばれています。

ボランティアの方は、それぞれ仕事を持たれていたり、家庭で育児や介護をされていたりと、大変忙しい生活の間をぬつての活動です。忙しくて今ままで続けてこられたのは、「自分たちも楽しんでるから」

「子供たちの喜ぶ顔が見えるから」。

それを見ると疲れも吹っ飛ぶ」とのことです。限られた時間の中で、こまでの活動をしてくださる皆さんには頭が下がるばかりです。

三つのグループに共通する悩みは会員の不足。図書館での活動に加え、小学校や幼稚園、養護学校にデイサービスセンターと活動の場が大変増えており、今の会員数では、手一杯の状況です。

当館では、毎年「図書館ボランティア養成講座」を開講して、新しい図書館ボランティアの養成と現在活動されているボランティアさんのレベルの向上を図っています。

今年度は「ストーリーテリング講座」を開講しており、「おはなしの会・かたつ夢り」への新規入会を期待しているところです。

早島町立図書館も開館して、今年で五年を迎えます。実際の児童サービスにかかわったことのなかった職員にとって、ボランティアグループ

の存在がとても大きい支えとなってきました。これからも良い関係を保つていくために、図書館とボランティアグループとの密なコミュニケーションの必要性を感じます。そこで今年度より年に数回、図書館職員と三つのボランティアグループとを交えた



ミーティングを開くことにしました。図書館とボランティアとのつながりだけでなく、グループ同士の横のつながりが生まれ、お互いが協力しあつて活動をしていく体制ができつつあります。

この秋には三つのグループの共同開催による「いい秋みつけた」という催しがおこなわれます。それぞれの得意分野を生かした企画で、今まで以上に楽しい催しとなりそうです。

(かわはらえつこ)

ウチの **ディスプレイ**
第3回
久米南町図書館
井上 寿美



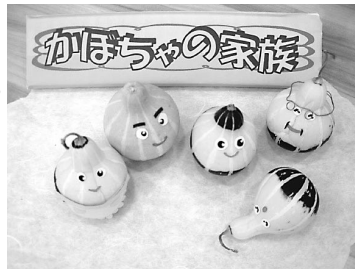
ります。また、お客さまにあまり借りられない本なども特集を組んで出

図書館も、ステキな本屋さんみたいだったらきつとお客さまは来やすいだろうな…。そんな図書館を目指してわたしたち職員はお客さまにとって心地よい空間作りをしています。新鮮な本と暖かくやさしい色の館内スプレー。楽しそうな館内に「いらつしやい」と誘われているような雰囲気を作るようにしています。玄関に置かれている大きな楕円形のテーブルは、ディスプレイのためのものです。そこには季節に準ずる



ものやその時の出来事によって本を並び替えています。そのため、一週間同じ時もあれば、一日で変わることもあります。種類が豊富な花やハーブなどの植物を飾る時にもその植物に関する本をディスプレイしています。

したりします。そうすると、「こんな分野の本もあつたんですね」と、新たな発見をしていただき、長い間誰の手に取られることもなく寝ていた本が動き出すきっかけになります。



「かぼちゃの家族」の写真をご覧ください。こちらは職員の家でとれたものです。赤ちゃんやおばあちゃんの顔を作ってディスプレイしてみました。とてもかわいいとたくさんの方にほめていただいています。

また、球根から直接花が咲いているめずらしい植物のコレクション。これはお客さまがご自宅で育てていたものを持ってきてくださいました。花の種類がかわ



で作ったとは思えないほどいい出来上がりではないでしょうか。絵本コーナーには、大きなトトロ

館内に置いてある植物は全て本物で、丸い葉をつけるものを選んで置くようにしています。また植木鉢も外観を損なわぬようレンガ色に統一しています。

わたしたちには、物品を購入する予算がありません。けれども、ほしいものがどうしても出て来ます。そういう時は創作の上手い職員に作ってもらうようにしています。お金はないけれど、オリジナルのものを作ることで対応しています。当館の特色である川柳コーナーや郷土コーナーの看板など（写真は久米南町と交流しているオーストラリアの



パロツサに関する本を置いているコーナー）も全て職員が余ったダンボールを使って作成しました。とてもダンボール



を置いています。木の色をそのまま生かした館内にはトトロが良く似合います。トトロは子どもから大人まで親しまれているキャラクターのひとつです。ちいさなお子さんが抱きついて遊ぶことができます。

一般書架の上は、本をディスプレイできるように設計されています。話題になつていいる分野や、よく借りられる本を置くようにしています。本の近くに観葉植物を置いたり、恐竜の本の横に恐竜のぬいぐるみを置くなどするとより目立つて手に取られることが多いようです。

わたしたち職員一人一人が最近の流行や出来事に敏感に反応し、楽しさがあふれるようなディスプレイをこころがけています。



(いのうえひさみ)

ウチの

れふあれんす 第7回

奈義町立図書館の巻

郷土の地誌を調べる

～日本原と廻国五兵衛～

松村 謙

当館で受ける日々雑多な内容のフランス依頼のうち、比較的多いのが奈義町近辺の事物の由来（主に近世）に関するものです。

この時代の美作地方東北部に関する地誌的資料がいくつかある中で、いつもお世話になっているのが『東作誌』です。

ご存知の方も多いと思いますが、元禄四（一六九一）年に編纂された津山森藩の官撰地誌である『作陽誌』が西六郡のみで未完に終わっているため、文化十二（一八一五）年に津山藩土正木兵馬（輝雄）により

東六郡（東南条、東北条、勝北、勝南、吉野、英田）を補う形で編纂された地誌です。

内容は村高、戸数、地勢、史跡名勝、伝承など多岐に渡り、近世美作を知る上での基礎的史料になっています。

この地方の地誌としてはもつと大なるもの（匹敵するものとして他に『白玉拾』などが考えられますが、こちらは欠本がある上にほとんど活字化されていませんので、自分のように古文書を読みこなせない人間には手に余ります。）ですし、他の本の記述を調べていたら東作誌を引用・参考にしたものであった、ということも多く、項目立てが村ごとになっておりレファレンスブックとして利用しやすいこともあって、とりあえず手がかりを見つけたときや地域ごとに調べたいときには本書を当てにすることが多いのです。（記述が正確でない箇所や、差別的表現を含むと思われる部分もありますので、提供にあたって配慮が必要なこともありますが。）

さて以前、ある利用者から日本原高原の地名の由来についてたずねられたことがあります。

日本原は奈義町・勝北町・勝央町にまたがる高原で、陸上自衛隊の駐屯地があることで知られています。

ために『奈義町誌』を調べたところ、一八〇ページ～一八二ページに日本原集落が「日本原」の地名を公称したのは明治三十年で、それ以前は「日本野（につぼんの）」と呼ばれていたとあり、ここでも『東作誌』の記事が引用されています。

『新訂作陽誌六（『東作誌三巻』）を確認したところ、勝北郡大吉庄広戸村市場分「広戸野」の項二百七ページ～二〇九ページに、「一に日本野と云ふ…」「北は北野村滝山麓（現奈義町）より南は植月北村鳥羽野（現勝央町）までの約二里、東は下川村の上より広戸市場分（現勝北町）までの約二十二～二十三町の平原」とあることから、日本原高原と呼ばれている地域と重なります。

また、「五兵衛と云ふ農民（或云生国不知）日本廻国して終に此野に供養塚を築き其側に小家を建て往来の人を憩しめ或は行臥したるものなとを止宿させて専ら慈愛を施せしかは誰云ふとなく日本廻国茶やと呼ならはせしを後には下略して日本と許り唱ふる如くなれる終其野をも日本野と称するも時勢と云へし…」とあることから、日本中を廻つてこの地に移り住んだ五兵衛さんという人が、立ち寄る客に日本各地のみやげ話をして聞かせたのが元で「日本」野と

呼ばれるようになり、それが転じて「日本原」になったというわけです。五兵衛さんの墓には、次のような墓碑銘が刻まれています。

雲仙居士 元文五申年九月初六日
此聖靈者国々島々無残順廻仕依而諸人稱日本五兵衛
是以此所日本野ト申候

日本野元祖



俗名 福田五兵衛

なお勝北町日本原字（あざ）日本の日本原神社には、昭和三十七年に彼を顕彰する石碑（日本野開祖日本五兵衛之碑）が建立されています。

ローカルな地名なのに「日本原」とは、いったいどんな由来によるものか、と想っていました。利用者から依頼がなければ調べることはな

かつたかもしれません。

自分の守備範囲にとどまらない、さまざまな知識に出会えるのも参考業務の面白さでしょう。

ほかに『美作誌』一〇六四ページ〜一〇六五ページ、『江戸村誌』一〇六六ページ〜一〇六七ページ、『勝北町誌』、『那岐山麓の民俗』九十一ページ〜九十二ページ、『奈義の里みやげ話』、『日本野元祖 福田五平』の項などに同様の記述が載っていますので、日本原と五兵衛さんに興味のある方は、ご覧になられてはいかがでしょうか。

《今回お世話になった本》

- 奈義町誌編纂委員会『奈義町誌』 図版五枚
 - 正木輝男『新訂作陽誌六（東作誌三巻）』作陽新報社真庭本社、一九七五年 五六五ページ
 - 正木輝男『美作誌 前編（東作誌）』石原書店 一九〇二年 一七二〜一七三ページ
 - 森安守『奈義の里みやげ話』森安守 一九七三年 一冊
 - 岡山民俗学会『那岐山麓の民俗』岡山民俗学会 一九五七年 一〇八ページ
- (まつむらけん)

岡山県図書館協会会則及び会費に関する細則が改正されました
平成15年度定期総会において改正されましたので全文を掲載します。

岡山県図書館協会会則

制定 昭和26年10月17日
 改正 昭和27年2月28日
 昭和28年5月13日
 昭和28年9月7日
 昭和30年4月1日
 昭和39年11月16日
 昭和48年6月11日
 昭和50年6月2日
 昭和54年6月4日
 平成3年6月17日
 平成12年6月5日
 平成15年6月23日

第1章 総則

(名称及び事務所)

第1条 この会は、岡山県図書館協会と称し、事務所を岡山県総合文化センター内に置く。

(目的)

第2条 この会は、図書館事業の発展並びに会員の資質の向上を図り、もって県民の教養・文化の向上に寄与することを目的とする。

(事業)

第3条 この会は、前条の目的を達成するため次の事業を行なう。

- 一 図書館相互間及び関係団体との連絡連携
- 二 図書館に關係のある調査研究
- 三 講演会、講習会、研究会、展覧会の開催
- 四 日本図書館協会との連絡連携
- 五 その他この会の目的を達成するために必要な事業

第2章 組織

(会の構成)

第4条 この会は、岡山県内の公共・大学・学校・専門図書館、公民館、その他図書資料を有する団体機関（以下「施設会員」という。）及びその施設に属する職員、その他一般の人（以下「個人会員」という。）でこの会の目的に賛同するものをもって組織する。

(入会及び退会)

第5条 この会に新たに入会しようとするものは、会費を添え所定の申込書によって会長に申し込むものとする。
2. 会を退会しようとするものは、その理由をつけて会長に届出するものとする。また、個人会員の場合、その年度の9月30日までに会費の払い込みがない場合は、退会したものと見なす。

(会費)

第6条 会員は、会費を納入しなければならない。会費の額については、会費に関する細則で定める。

(委員会)

第7条 本会には、委員会を設けることができる。委員会の設置及び委員会の規約については、理事会で議決する。

第3章 役員及び職員

(役員)

第8条 この会に、次の役員を置く。

- 会長 1名
- 副会長 若干名
- 理事 若干名
- 監事 2名

(役員の任務)

第9条 会長は、本会を代表し、会務を総括する。
2. 副会長は、会長を補佐し、会長事故あるときは、その職務を代行する。
3. 理事は、会長及び副会長と理事会を組織して会務の企画運営を審議し執行する。
4. 監事は、会計を監査する。

(役員の出選及び任期)

第10条 会長、副会長、理事、監事は、会員中から総会において選出する。
2. 役員は、任期は、2年とする。ただし、再任を妨げない。
3. 補欠役員は、前任者の残任期間とする。
4. 役員は、任期満了後も後任者の就任するまでその職務を行なうものとする。

(事務局)

第11条 この会に事務局を置く。
2. 事務局に、事務局長、書記その他必要な職員を置き、会長がこれを委嘱する。

第4章 顧問及び参与

(顧問及び参与)

第12条 この会に、顧問及び参与を置くことができる。顧問には、特に本会に功績のあったもの及び学識経験のあるもの、参与には、特に本会に深い関係を有するものうちから、理事会において承認を得るものとする。

第5章 会議

(会議)

第13条 会議は、総会及び理事会の2種とする。
2. 会議は、会長がこれを召集し、会議の議長はそのつど会員のうちから選出する。
第14条 会議は、構成員の半数以上が出席しないと成立しない。この場合において、事前に委任状を提出して他の構成員に議決権を委任した場合は、その会議に出席したものとみなす。
2. 議決には、出席者の半数以上の賛成を得なければならない。可否同数のときは、議長の裁決による。

(総会)

第15条 総会は、毎年1回開き、前年度事業報告及び収支決算報告の承認、役員を選出、当該年度の事業計画及び収支予算その他重要な議案を議決する。
2. 会長が必要と認めるとき又は会員の1/3以上の請求があったとき、会長は臨時総会を開かねばならない。

(理事会)

第16条 理事会は、前年度事業報告及び収支決算報告、当該年度事業計画及び収支決算について、総会へ提出する案を審議する。その他総会に提出すべき議案その他会務の企画について、審議する。
2. 緊急を要する事項で総会を開催することができないと会長が判断した場合、理事会を開いて決議することができる。その場合、書面又は口頭により意見を求めて、理事会に代えることができる。以上の決議は、総会での事後承認を要するものとする。

第6章 会計

(収入)

第17条 この会の経費は、会費、寄附金その他の収入をもってあてる。会費の納入は、毎年6月末日までに納入するものとする。

(会計年度)

第18条 この会の会計年度は、毎年4月1日に始まり、翌年3月31日に終わる。

第7章 帳簿

(備えなければならない帳簿)

第19条 この会に、次の帳簿を備えなければならない。

- 1 会議録
- 2 金銭出納簿
- 3 事業記録簿
- 4 会員名簿
- 5 その他必要な帳簿

第8章 補則

(会則の変更)

第20条 この会則の変更は、総会の議決による。

(細則)

第21条 会長は、この会の運営に関する細則を別に定めることができる。

附則

この会則は、平成12年6月5日から実施する。

附則

この会則は、平成15年6月23日から実施する。

岡山県図書館協会会費に関する細則

制定 平成12年6月5日
改正 平成15年6月23日

第1条 この会則は岡山県図書館協会会則第6条によって定める。

第2条 会費は、施設会費と個人会費の2種とし、施設会費をさらにA・B・C・Dの4段階にわける。施設会費のランクの基準については、Aは県立図書館・市立図書館（人口40万人以上の市の中央館）、Bは市立図書館・短大図書館、Cは町立図書館、Dは公民館図書室とする。図書館類似施設については、ランクは任意とする。

2. 施設会費のAは17,000円、Bは11,000円、Cは6,000円、Dは3,000円をそれぞれ年間会費として納める。
3. 個人会費は、年間1,000円とする。

第3条 この細則の変更は総会の議決による。

附則

この細則は、平成13年4月1日から実施する。
制定から実施までの間、会費については従来例による。

附則

この細則は、平成16年4月1日から実施する。
制定から実施までの間、会費については従来例による。

会員消息

入会個人

- 尾池 義洋 (県総合文化センター)
- 久戸瀬瑞季 (県総合文化センター)
- 高尾 哲彦 (岡山市立中央図書館)
- 西尾 浩至 (岡山市立中央図書館)
- 浅沼 清宏 (岡山市立幸町図書館)
- 木原 敦子 (岡山市立幸町図書館)
- 岸本佐和子 (岡山市立浦安図書館)
- 吉岡亜希子 (岡山市立浦安図書館)
- 武田 俊宏 (倉敷市立中央図書館)
- 村島 敏文 (津山市立図書館)
- 名合 勝夫 (玉野市立図書館)
- 川口 博 (玉野市立図書館)
- 谷本 光男 (笠岡市立図書館)
- 伴 康義 (笠岡市立図書館)
- 池田 紀彦 (井原市立図書館)
- 小川 智之 (井原市立図書館)
- 森下 洋子 (井原市立図書館)
- 塩田 一弥 (高梁市立図書館)
- 藤井 京子 (新見市立図書館)
- 山田 倫子 (真備町立図書館)
- 志賀 健司 (真備町立図書館)
- 新谷 幸子 (真備町立図書館)
- 土師 聡子 (真備町立図書館)
- 家元 瞳 (勝央町立図書館)
- 伊賀 祐子 (山陽学園大学図書館)
- 塩見 優子 (順正短期大学図書館)
- 塩見 雪子
- 須江 秀子
- 土江 寛子

- 三宅 一子
- 山地 早代 (岡山県図書館協会事務員)

入会施設

- 金光町立図書館
- 鏡野町立図書館
- 東粟倉村公民館図書室

会員現況

- (平成十五年九月現在)
- 個人会員……………三百十名
- 施設会員……………七十八館
- ランク別内訳

- A:二十一館 B:十九館
- C:三十三館 D:五館

個人会費の改正

九百円 千円(平成十六年度より)

七ページに掲載しました当協会会則と会費に関する細則のとおり、来年度から個人会費が千円になります。これは、昨今の当協会事業とそれにかかる経費を考慮のうえ、今年度の定期総会に諮り、承認されたものですので、何卒御理解いただけましたようお願いいたします。

なお、施設会費については変更ありませんので、御了知ください。また、今年度の会費を未納の方は、至急お納めください。

平成十五・十六年度役員

定期総会において、次の方々が選出されました。任期は二年です。

・参与

渡邊 倫子(県教育庁生涯学習課)

・会長

広江 寿彦(県総合文化センター)

・副会長

古南 倫子(岡山市立中央図書館)

渡部 秀人(早島町立図書館)

井上 一(岡山大学附属図書館)

西山 和義(美作大学附属図書館)

・理事

武田 俊宏(倉敷市立中央図書館)

清水 厚子(津山市立図書館)

陶山 正志(総社市立図書館)

福意 昭教(新見市立図書館)

岡崎 實雲(山陽町立図書館)

中村みき江(柵原町立図書館)

高橋行地郎(金光図書館)

生谷 吉男(倉敷芸術科学大学図書館)

書館)

上島 孝久(中国学園図書館)

安井 昭夫(山陽技術振興会)

黒崎 義博(日本図書館協会評議員)

員)

秋田征矢雄(日本図書館協会評議員)

員)

原田 栄一(県青年図書館員研修会)

会)

渡辺 光右(県総合文化センター)

・監事

青山 隆(備前市立図書館)

村上 喬一(真備町立図書館)

平成十五年企画委員

昨年度委嘱した委員のうち、三名が人事異動等により交代しました。

藤原 敏子 中畑 友希(県総合文化センター)

井上真紀子 川合 博子(県総合文化センター)

長代八重子 中村美小代(倉敷市立玉島図書館)

事務局から

九月から事務局スタッフとなりました山地です。会報の編集や会計などを主に担当します。どうぞよろしくお願いたします。

平成十五年十一月三十日
 〒七〇〇 〇八一四
 岡山市天神町八 五四
 岡山県総合文化センター内
 岡山県図書館協会
 会長 広江 寿彦
 (〇八六)二二四 一一八六
 (内線 二四五)